

教員の資質能力向上のための  
能動的自立研修の手引き



千葉県総合教育センター

## ＜ 目 次 ＞

1. 能動的自立研修の意義	1
2. 能動的自立研修の構想	2
3. 能動的自立研修の活用	3
(1) 能動的自立研修の活用パターンと年間スケジュール	
①能動的自立研修の活用パターン	
②年間スケジュール	
(2) 「自己評価表と研修計画書」のダウンロード方法	
4. 能動的自立研修の進め方	
(1) 教員の資質能力についての自己評価	7
①自分の資質能力を振り返りましょう。	
②県平均と比べてみましょう。	
③教員として、自分のよさと課題を把握しましょう。	
(2) 研修計画の立案	10
①今年度重点的に取り組みたい研修テーマを1つ決めましょう。	
②研修テーマに取り組むための計画を立てましょう。	
※教員の資質能力の向上を図るための取組例	12
(3) 研修や教育活動の実践	18
①留意点に気をつけて、実践しましょう。	
②実践したことを記録しましょう。	
(4) 実践の振り返り	19
①自分の成長を振り返ってみましょう。	
②今年度実践した成果と課題をまとめてみましょう。	
③次年度取り組んでみようと思うことをまとめてみましょう。	
5. 協力校の実践	21
資料1 教員の資質能力 自己評価表	22
＜小学校教諭＞	＜中・高等学校教諭＞
＜特別支援学校教諭＞	＜養護教諭＞
資料2 研修計画書（研修の記録）	26
参考文献	27

## 1. 能動的自立研修の意義

社会状況や子どもの実態の急激な変化に伴い、学校教育が抱える課題は、複雑化・多様化しています。教員はその対応が迫られるなか、今まで以上に教育の専門家としての力量、広い視野を持った総合的な人間力という資質能力が求められています。そのために、教員は、日頃から研究と修養に励むこと、「学び続ける教師」であることが求められています。

千葉県教職員研修体系をはじめ多くの場で「自発的に学ぶこと」が研修成果を高める上で有効であるといわれています。能動的自立研修とは、自ら進んで、教員の資質能力(※1)を向上させるための研修を立案し、実践していくものです。そのためには、自らを振り返り自分のよさと課題を把握した上で取り組むべき研修テーマを設定し、RPDCAのマネジメントサイクルで研修を進めることが有効であると考えました。

本手引書は、「教員の資質能力 自己評価表」(以下「自己評価表」とする)「研修計画書(研修の記録)」(以下「研修計画書」とする)を活用した能動的自立研修の具体的方策をまとめてあります。皆様が自らの資質能力を向上させることで子どもたちの成長につながり、教員としての喜びを感じていただけるように、活用していただくことを期待しております。

(※1)

教員の資質能力について、下図のように、「教職に対する強い情熱」、「教育の専門家としての確かな力量」、「総合的な人間力」の3つの視点にまとめ、それぞれを構成する14の要素を設定しました。

# 教員の資質能力

## 教職に対する 強い情熱

- ・ 児童生徒への教育的愛情
- ・ 教師としての使命感
- ・ 高い倫理観
- ・ 常に学び続ける向上心

## 教育の専門家としての確かな力量

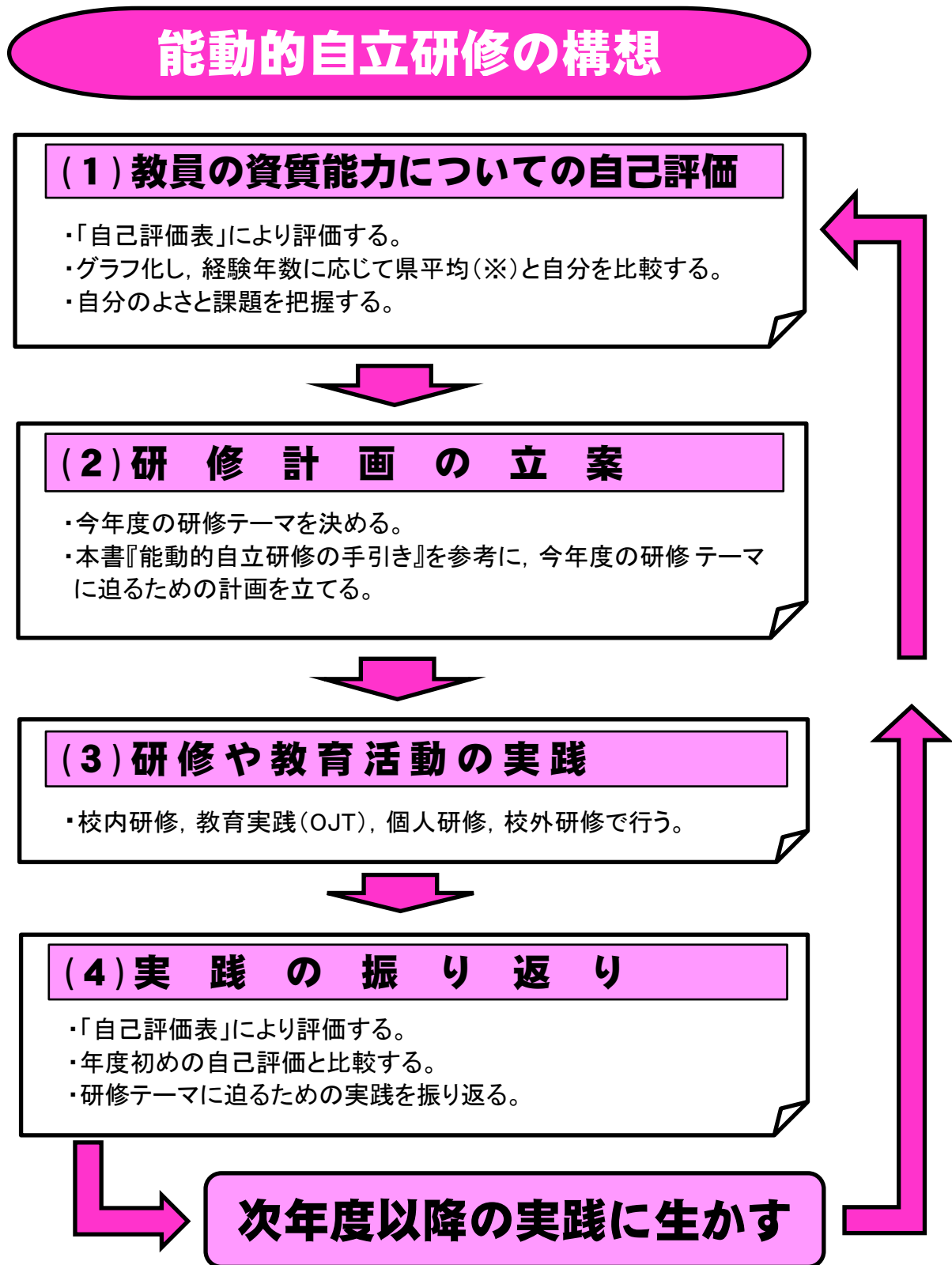
- ・ 児童生徒を理解する力
- ・ 生徒指導を実践する力
- ・ 学びを支える授業力
- ・ 校種・職種に関する専門的知見
- ・ 新たな課題に対応していく力

## 総合的な人間力

- ・ 社会人としての識見と教養
- ・ 協働・連携していく姿勢
- ・ 豊かな人間性
- ・ 対人関係能力
- ・ 心身の健康

## 2. 能動的自立研修の構想

本手引書では、能動的自立研修について、自ら進んで、教員の資質能力を向上させるための研修を立案し、実践していくものとして具体的な構想を下の図のように考えました。



※ 県平均は、県内教員より抽出したデータをもとにしてあります。

### 3. 能動的自立研修の活用

本手引書では、「2. 能動的自立研修の構想」を2ページに、その具体的な手順を示した「4. 能動的自立研修の進め方」を7～20ページに掲載しています。

また、能動的自立研修を構想にそって進めるために、研修ツールとして自己評価表〔資料1〕22～25ページと研修計画書〔資料2〕26ページを作成しました。

それらを使って能動的自立研修を進めるにあたり、それぞれのシートを、千葉県総合教育センターWebページからダウンロードし、パソコン上で操作できるようにしてあります。（ダウンロードの方法については、手引書6ページを参考にしてください。）

自分の校種・職種に当てはまる自己評価表と研修計画書を用意したうえで、手引書7ページからの「4. 能動的自立研修の進め方」を御覧ください。記載内容の凡例は次のとおりです。

③教員として、自分のよさと課題を把握しましょう。

**いろいろな方法で、自分のよさと課題を振り返りましょう。**

具体的に行うことが書いてあります。

<自分のよさと課題を把握する方法(例)>

- (1) 自己評価表による評価結果から、県平均と比べる。
- (2) 自己評価表の52の評価項目の内容をもとに考える。

上に示されたことを行うための方法例や視点を書いてあります。これを参考に実施しましょう。



例に示したいくつかを組み合わせることで、より客観的に自分のよさと課題が振り返れます。

ワンポイントコメントです。

「研修計画書の3」に記入しましょう。  
○自分のよさ ■自分の課題をそれぞれ3つまで見つけましょう。

記入例を参考に研修計画書のどこに記入するか指示しています。

(記入例)

#### 3. 教員として、自分のよさと課題を把握しましょう。(3つ以内)

よさ	○児童が興味をもって学習し、分かる授業をするために……	課題	■廊下歩行や教室での過ごし方、清掃の仕方などの指導が……
----	-----------------------------	----	------------------------------

※ 記入例はあくまでも目安です。内容等は先生方の取組に合わせて自由に記入してください。

## (1) 能動的自立研修の活用パターンと年間スケジュール

### ①能動的自立研修の活用パターン

能動的自立研修とは、「自ら積極的に、自分の力で計画し、実践し、資質能力を高めていく研修」です。教員一人一人が、研修によって自らの資質能力を高めようという意欲が大切です。個人での取組を含め、本研修を活用していただくパターンを紹介します。

#### ●パターン1：個人で取り組む

・個人で取り組みます。自分のペースで自由に取り組むことができます。しかし、一方で、自分の思いだけで研修が進められることになりかねません。折に触れ同僚や管理職の先生方の意見を聞き、自らの評価や実践を客観的に見つめることで効果的な研修につながります。

#### ●パターン2：指導的な立場の方とペアで取り組む

・教務主任や管理職とペアとなり、指導助言をいただきながら取り組みます。特に、若手教員は経験が浅いため、自らのよさや課題を見つけることや、設定した研修テーマに効果的な研修を計画することが難しい場合もあります。経験豊富な先生方の知識・技能等を参考にすることで効果的な研修を進めることができます。

・初任者研修（フォローアップ研修）での「課題研究研修」、5年経験者研修（ステップアップ研修）での「課題発表研修」において、課題設定や研修計画の作成に役立ちます。

#### ●パターン3：グループで取り組む

・経験年数や担当学年、または、教科や領域、さらに設定した研修テーマが同じ3人程度のグループで一緒に取り組みます。定期的に会合をもち、お互いの研修計画書をもとに相談をし、アドバイスをしあうことで効果的な研修につながります。また、共に研修を進めることで相互理解が深まり、協働意識が高まります。

#### ●パターン4：学校全体で取り組む

・年間の研修計画に能動的自立研修を位置付け、全員で取り組みます。研究主任等主担当者を中心に、主旨説明、自己評価、研修テーマ設定、研修計画の作成等計画的に進めます。年度途中では、研修の進捗状況を確認し、個々の成果と課題をもとに次年度の学校全体の取組を確認しあうことで、「教師力」、「学校力」のみならず、児童生徒の「人間力」の向上につながります。

各学校や先生方の実態に応じた活用パターンで取り組んでみましょう。



## ②年間スケジュール

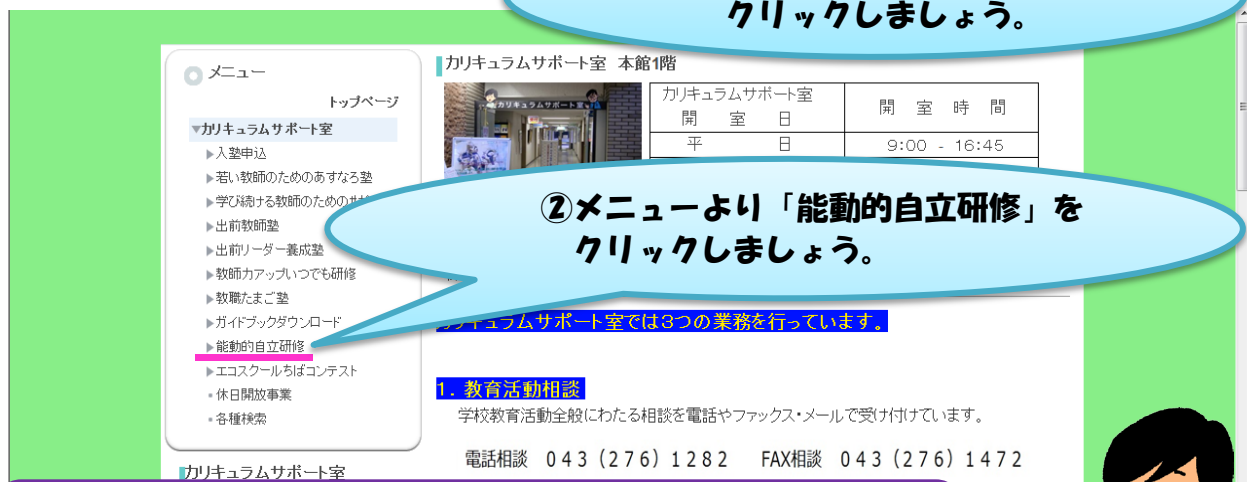
時期		マネジメント サイクル	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4
3月 下旬 ↓ 4月 中旬	研修計画書(p.26) 1～5の記入  1 自己評価表入力 2 県平均との比較 3 よさと課題の把握  4 研修テーマの決定 5 研修計画の立案	R  P	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の際には、自分の実践を客観的に評価するよう心がけ、自分のよさと課題を把握しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導担当者との打合せを持ち、アドバイスを参考にして自分のよさと課題を把握しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで検討会を開きお互いを客観的に評価しあいながら自分のよさと課題を把握しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価表の入力、研修テーマの設定、研修計画の立案について校内研修の年間計画に位置付けましょう。</li> <li>研修計画立案の際は、管理職、教務主任等指導的な立場の方のアドバイスを参考にしましょう。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自己評価は自分自身を振り返り正確に入力しましょう。</li> <li>* 自己評価だけでなく、諸先生方の意見等を参考にして、自分のよさと課題を把握しましょう。</li> <li>* 研修テーマは、自分のよさや課題、学校の課題や担当の分掌を踏まえて設定しましょう。</li> <li>* 研修計画の立案に際し、手引きのP12～17にある教員の資質能力の向上を図るための取組例や、諸先生方の実践をぜひ参考にしましょう。</li> <li>* 総々の希望研修には、申し込みに×切が設定されているものがありますので注意してください。</li> </ul>			
4月 中旬 ↓ 1月 中旬 ↓ 3月	研修の実践  6 研修の記録をとる  7 自己評価表入力  8 成果と課題 9 次年度に向けて	D  C  A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から同僚や上司に研修の状況について相談しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の状況を適宜指導担当に報告するとともに、記録を残しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの研修の状況を報告し合う場を設定し意見交換をしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の進捗状況を確認し合う場を設定し、意見交換をしましょう。</li> <li>年度末の自己評価表の入力や成果と課題について記入する時間を設定しましょう。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>* 研修計画書の6への記入だけでなく、他の方法でも研修の記録を取りましょう。</li> <li>* 研修を振り返り、場合によっては計画の見直しも検討しましょう。</li> <li>* 1年間の研修を振り返り、再度自己評価をしましょう。</li> <li>* 成果と課題をもとに、次年度取り組みたいことを考えてみましょう。</li> <li>* 年度末の自己評価は、次年度初めの自己評価に自動的に反映されます。</li> </ul>			

## (2) 「自己評価表と研修計画書」のダウンロード方法

千葉県総合教育センターのWebページを開いてください。

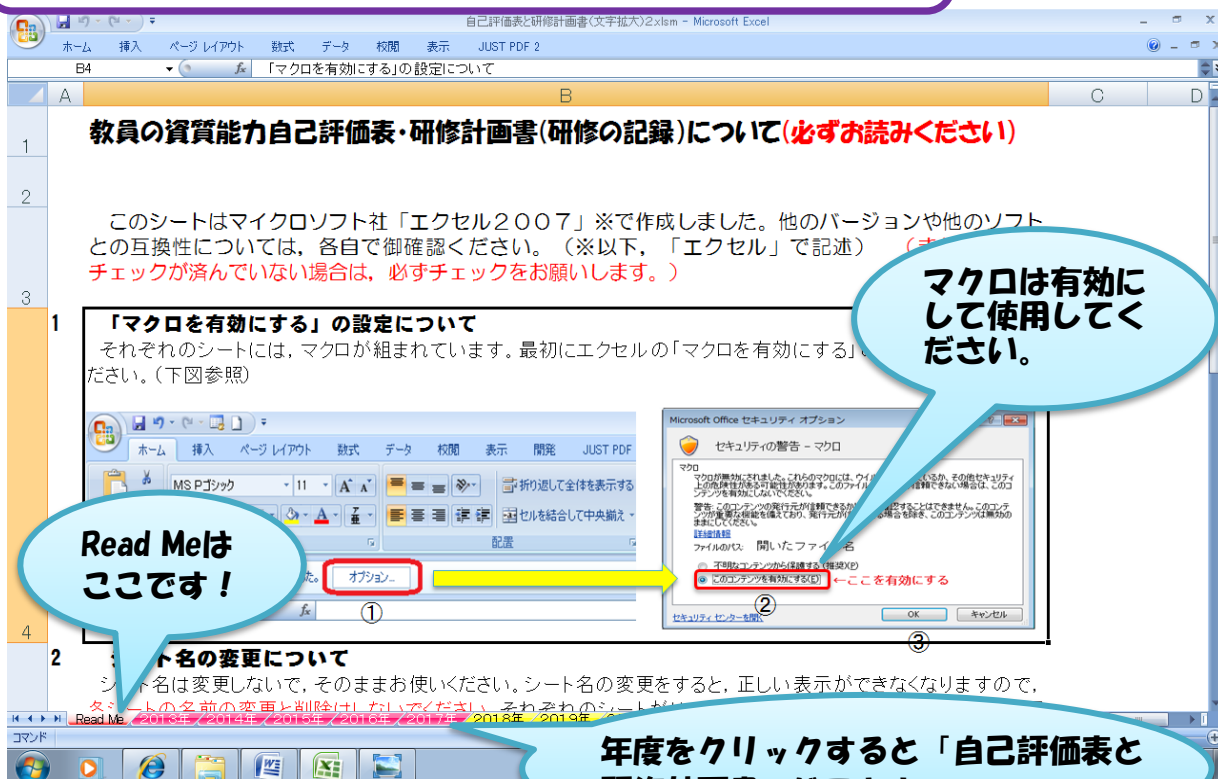


①カリキュラムサポート室をクリックしましょう。



②メニューより「能動的自立研修」をクリックしましょう。

開いたページから「自己評価表と研修計画書」がダウンロードできます。  
ダウンロードができれば、初めに「Read Me」を読みましょう。



Read Meは  
ここです！

マクロは有効に  
して使用してく  
ださい。

年度をクリックすると「自己評価表と  
研修計画書」がでます。



## 4. 能動的自立研修の進め方

### (1) 教員の資質能力についての自己評価

①自分の資質能力を振り返りましょう。

#### 教員の資質能力 自己評価表

<小学校教諭>

4・・・とてもあてはまる 3・・・おおむねあてはまる 2・・・あまりあてはまらない 1・・・まったくあてはまらない

資質能力	No	評価項目	年度初め	年度末
教職に対する強い情熱	1	児童の思いや考えを頭ごなしに否定せず、受け止めている。		
	2	児童の希望や願いを理解し、労を惜しまず支援している。		
	3	児童が成長した姿をみると、教師としての喜びを感じている。		
	4	児童一人一人の自己実現を願い、日々、教育活動に励んでいる。		
	5	学習の内容をすべての児童に理解させるように努めている。		
	6	保護者や地域住民等の願いを受け止め、教育活動に励んでいる。		
	7	服務規律や職務命令等法令や規則に従って仕事をしている。		
	8	上司や同僚に報告・連絡・相談することを心がけている。		
	9	飲酒運転、セクハラ・わいせつ行為、体罰、情報漏えいなど、法令や規則に違反しないよう努めている。		
	10	経験年数や職務内容に応じ、積極的に研修に取り組んでいる。		
	11	目標としている先輩教員や理想の教師像を持ち、その実現に努めている。		
	12	自分の指導を振り返ったり、他の意見を聞いたりして、改善に努めている。		
教育の専門家としての確かな力量	13	児童一人一人の行動や学習の状況を記録し、指導に活かしている。		
	14	児童の成長や発達の段階に応じた指導の在り方を求めている。		
	15	忙しい時でも、児童一人一人とコミュニケーションを図っている。		
	16	受容的態度で、まず児童の話をよく聞くようにしている。		
	17	信頼関係構築のために、すべての児童の人権に配慮している。		
	18	適切なルールを設け、児童相互の好ましい人間関係づくりに努めるなど、安心して過ごせる学びの場を維持している。		
	19	教育相談の手法を身に付け、児童にとって適切な援助を行っている。		
	20	学習指導や生活指導に特別な配慮が必要な児童への支援の手立てを考えて指導にあたっている。		
	21	事故や災害時の対応を十分理解し、状況に応じて適切に行動できる。		
	22	児童の実態に応じ、校内・校外の組織等と連携・協力している。		
	23	児童の実態と指導する学習内容を把握し、学習計画を構想している。		
	24	基本的な学習ルールを定着させ、発問・指示・説明を使い分けて授業展開している。		
総合的な人間力	25	学習前学習後の実態から児童の変容を把握している。		
	26	授業中での評価を生かし、一人一人の指導と支援に当たるなど、指導と評価の一体化を図っている。		
	27	授業評価を行うなど、日々の授業を振り返り、授業改善に努めている。		
	28	学習指導要領の内容を理解している。		
	29	指導の効果を高めるため、教科・領域等のつながりを考えた合科的・関連的な指導をしている。		
	30	専門的な知識を備え、指導が得意な教科等がある。		
	31	児童の興味関心を引き出しながら指導している。		
	32	児童に基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。		
	33	学校教育指導の指針を理解し、指導の改善に努めている。		
	34	学校評価の結果から課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。		
	35	キャリア教育や情報教育、食育等の今日的な教育課題を理解している。		
	36	携帯電話・インターネット等について、適切な利用方法を理解し、指導している。		
37	ICTの活用など新しい指導技術を実践に取り入れるよう努めている。			
38	日頃から礼儀や言葉遣い、身だしなみを意識して行動している。			
39	様々なメディアを通じ、社会の出来事について情報を取り込むように心がけている。			
40	公共のマナーやルールを理解し、行動している。			
41	日頃から保護者や地域住民等との適切な信頼関係づくりに努めている。			
42	相手の考えを柔軟に受け止め、自分の考えを分かりやすく伝えている。			
43	誰に対しても誠意を持って真摯な態度で接している。			
44	授業づくりや生徒指導、学校行事等に、他の教職員と協力して取り組んでいる。			
45	担当する校務を進めるとともに、同僚の仕事を気にかけて、協力しよう心がけている。			
46	児童の教育のために、保護者と協力して取り組んでいる。			
47	日頃から適度な運動を心がけるなど、自分の健康管理を行っている。			
48	適切な手段でストレスを解消している。			
49	同僚の健康にも気遣い、よりよい職場環境づくりに心がけている。			
50	他者を思いやり、敬意を感じたりする気持ちを大切にしている。			
51	地域行事への参加や協力など地域社会に貢献している。			
52	社会的立場を自覚し、責任ある行動をしている。			

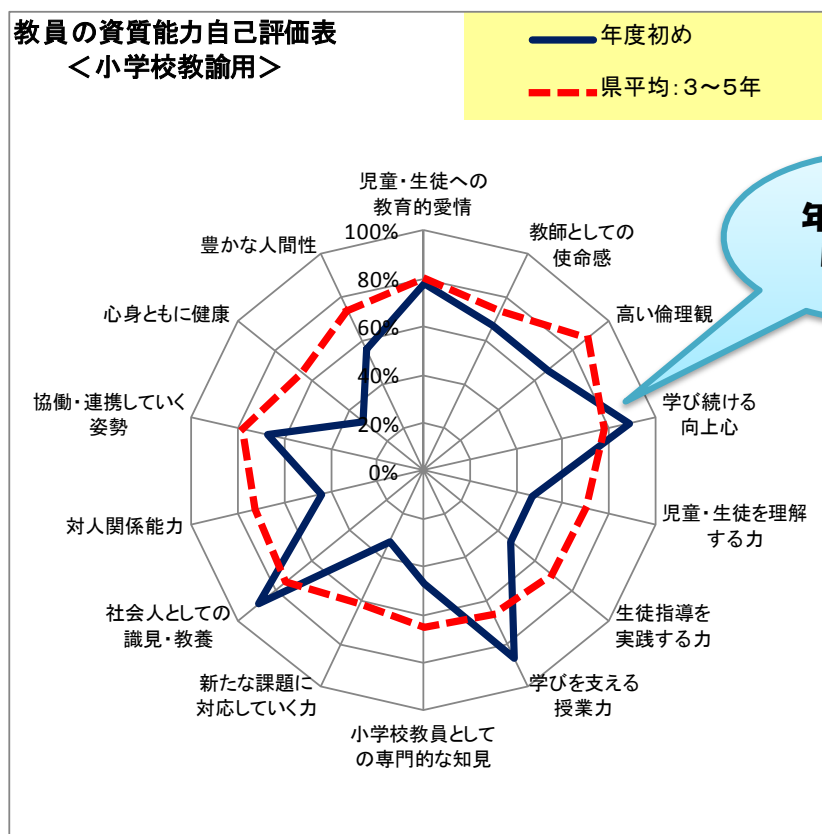
自己評価表の「年度初め」の欄に、4～1の値を入力しましょう。

4・・・とてもあてはまる  
3・・・おおむねあてはまる  
2・・・あまりあてはまらない  
1・・・まったくあてはまらない

52の評価項目を評価することにより、教員の資質能力の14の要素について振り返ります。

自己評価が終わったら、研修計画書の経験年数をクリックしましょう。

②県平均と比べてみましょう。



14の要素ごとのグラフにします。  
経験年数ごとの県平均と比べてみましょう。

県内の小・中・高等・特別支援学校の教諭及び養護教諭から無作為で抽出した集計結果を現在の教員の状況としてとらえ、「県平均」と表示しています。



比べた結果を「研修計画書の2」に記入しましょう。

- 県平均と比べ、数値が顕著に高い要素
- 県平均と比べ、数値が顕著に低い要素

(記入例)

2. 県平均と比べてみましょう。(3要素以内)

○ 県平均と比べ、数値が顕著に高い資質能力	常に学び続ける向上心, 学びを支える授業力, 社会人としての識見・教養
■ 県平均と比べ、数値が顕著に低い資質能力	生徒指導を实践する力, 新たな課題に対応していく力, 心身ともに健康

③教員として、自分のよさと課題を把握しましょう。

## いろいろな方法で、自分のよさと課題を振り返りましょう。

<自分のよさと課題を把握する方法(例)>

- (1) 自己評価表による評価結果から、県平均と比べる。
- (2) 自己評価表の52の評価項目の内容をもとに考える。
- (3) 日常の教育実践で「頑張っていること」や「悩んでいること」を思い返す。
- (4) 自分以外の人からの助言や感想を参考にする。
  - ① 数人のグループ内で自分のよさと課題を発表し、他のメンバーから助言や感想をもらう。
  - ② 管理職や同僚から助言をもらう。
  - ③ 児童生徒等のアンケートを参考にする。

例に示したいくつかを組み合わせることで、より客観的に自分のよさと課題が振り返れます。



「研修計画書の3」に記入しましょう。

○自分のよさ ■自分の課題 をそれぞれ3つまで見つけましょう。

(記入例)

### 3. 教員として、自分のよさと課題を把握しましょう。(3つ以内)

よ さ	<ul style="list-style-type: none"><li>○児童が興味をもって学習し、分かる授業をするために、1時間の展開を計画し、授業を行っている。</li><li>○本や雑誌、新聞などを読み、様々な情報を得るように心がけている。</li></ul>	課 題	<ul style="list-style-type: none"><li>■廊下歩行や教室での過ごし方、清掃の仕方などの指導が徹底していない。</li><li>■不登校児童への指導の成果が上がらない。</li><li>■地域行事に参加していない。社会貢献活動をしていない。</li></ul>
--------	---	--------	---

## (2) 研修計画の立案

①今年度重点的に取り組みたい研修テーマを1つ決めましょう。

次の例を参考に、重点的に取り組みたい研修テーマを1つ決めましょう。

<研修テーマの決め方(例)>

- (1) 自分のよさと課題を参考にする。
  - ・教員としての「自分のよさ」をさらに伸ばす。(伸長目標)
  - ・教員としての「自分の課題」を改善する。(克服目標)
- (2) 経験年数ごとの県平均と比較する。
- (3) 学校の今日的課題に対応する緊急度を考える。
- (4) 担当の校務分掌の職務を考える。



研修テーマを決める際に、「教員の資質能力」の14の要素のどれにあてはまるか確認してください。

「研修計画書の4」に、今年度の研修テーマを記入しましょう。

(記入例)

4. 今年度重点的に取り組みたい研修テーマを1つ決めましょう。

テ ー マ	生徒指導について、様々な面から学び、実践に生かす。
-------------	---------------------------

②研修テーマに取り組むための計画を立てましょう。

**「教員の資質能力の向上を図るための取組例」(p12～17)を参考に、研修テーマに取り組むための計画を考えましょう。(3つ以内)**

＜研修テーマに取り組むための活動の場＞

校内研修・・・研修テーマにあった研修を職場の中で実施する。

教育実践・・・学習指導や生徒指導等の教育の場で、先輩・同僚の助言や個人研修で学んだことをもとに、意図した指導を行う。職場での教育実践が、必要な資質能力の向上につながる。

個人研修・・・研修テーマにあった書物や文献を読んだり、各種研修会に参加したりする。いろいろな人と交流を図ることも、学ぶ機会となる。

校外研修・・・県教育委員会、市町村教育委員会等主催の重点課題を改善するための内容に関する研修会や先進校研究会を探し、積極的に参加する。

教育実践(OJT)は、数名のグループで継続的に実践・検討していくと効果的でしょう。

県総合教育センター主催の研修の内容は、Webページ(<http://db.ice.or.jp/nc/>)から、御覧になれます。

県総合教育センターカリキュラムサポート室では多くの教育関係書が御覧いただけます。



「研修計画書の5」に研修テーマに取り組むための計画を記入しましょう。

(記入例)

**5. 研修テーマに取り組むための計画を立てましょう。(3つ以内)**

	計 画
その一	生徒指導提要(文部科学省)、生徒指導の充実のために(県教委)などを熟読し、生徒指導について理解を深める。
その二	基本的な生活習慣や規範意識の指導について、学年、学校で共通理解を図り、指導の徹底を図る。
その三	子どもと親のサポートセンター主催の「教育相談基礎研修」や市教育センター主催の生徒指導に関する研修への参加を希望する。教育研究会の生徒指導部会に参加する。

## 教員の資質能力の向上を図るための取組例

資質能力	校内研修	教育実践(OJT)	個人研修	校外研修	
教職に対する強い情熱	児童生徒への教育的愛情	児童生徒一人一人の自己実現を図るための情報交換会を行う。 ・生徒指導委員会 ・学年会 ・職員会議 ・人権教育研修会	一生懸命頑張っている児童生徒の姿を見付け、記録する。 児童生徒一人一人の人権に配慮した言動や行動をする。 ・個人面談 ・ <a href="#">教育相談</a>	児童生徒の願いを実現させる指導力の向上に努める。 一人一人の立場を認める人権感覚を磨く。 ・学校生活と子どもの人権(県教委) ・ <a href="#">図書館</a> ・ <a href="#">博物館</a> ・ <a href="#">美術館</a> ・ <a href="#">資料館</a>	児童生徒理解、人権に関する研修会に参加する。 ・異校種交流 ・公開研究会 ・ <a href="#">研修会(※1)</a> ・ <a href="#">研修会(※2)</a>
	教師としての使命感	教職員と児童生徒との関わりを振り返る時間を常に設け、教員の使命感や責任を確認し合う。 管理職、先輩等から教育公務員としての職責や社会からの期待について話を聴く。 ・各種校内推進委員会 ・職員会議	児童生徒一人一人の確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を図ることを常に意識して指導する。	「教師のあり方」等に関わる書籍を読む。 地域住民や保護者と対話する機会を持ち、教員や学校に求められているものを把握する。 ・保護者面談 ・地域行事への参加	現代の教育課題を認識し、教員の仕事の重要性を自覚し、行動しようとする意識を高める研修会に参加する。 ・異校種交流 ・公開研究会 ・ <a href="#">研修会(※1)</a> ・ <a href="#">研修会(※2)</a>
	高い倫理観	モラルアップ委員会や不祥事防止研修会に参加する。 ・モラルアップ委員会 ・不祥事防止研修会	児童生徒への指導にあたってはセクハラ行為、体罰等に留意する。 ・ <a href="#">運動部活動での指導のガイドライン(文科省)</a>	千葉県コンプライアンス基本指針や法令等をもとに、公務員としての在り方を学ぶ。 ・ <a href="#">千葉県コンプライアンス基本指針</a>	コンプライアンス等に関する研修会に参加する。
	学び続ける向上心	職場内でお互いの指導力を高め合うために、積極的に授業を公開し、長所と短所について助言してもらう。 ・教科指導部会 ・若年層研修会	児童生徒の評価等を生かし、授業改善に努める。 週案で実践を振り返るとともに、上司の指導を実践に生かす。	教員の資質能力の向上を図るため、自己評価表で振り返り能動的に研修計画を立案、実践する。 ・ <a href="#">図書館</a> ・ <a href="#">博物館</a> ・ <a href="#">美術館</a> ・ <a href="#">資料館</a> ・ <a href="#">カリキュラムサポート室(総セ)</a>	教員の資質能力を高める研修会に積極的に参加する。 ・ <a href="#">研修会(※1)</a> ・ <a href="#">研修会(※2)</a>

(注) 教員の資質能力の向上を図るための取組例内の青文字をクリックすると、関連Webページが開きます。

※1 千葉県総合教育センター主催の研修が、Webページから御覧いただけます。

※2 各市教育センター等の研修が、こちらから御覧いただけます。

資質能力	校内研修	教育実践(OJT)	個人研修	校外研修
教育の専門家としての確かな力量	<p>児童理解する徒力を</p> <p>教職員間で、児童生徒の生活状況を共通理解する機会を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導委員会</li> <li>・特別支援アドバイザーの活用</li> </ul>	<p>教育実践(OJT)</p> <p>児童生徒の行動や学習の状況を観察し記録する。 児童生徒とともに活動する機会をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談</li> <li>・教育相談</li> </ul>	<p>個人研修</p> <p>児童生徒理解、グループエンカウンター等に関する教育書等を熟読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての教員に求められる特別な教育的支援Q&amp;A(県教委)</li> <li>・学級づくりガイドブック(総セ)</li> <li>・生徒指導提要(文科省)</li> </ul>	<p>校外研修</p> <p>教育相談、コーチング、コミュニケーションスキル、児童生徒理解等に関する研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会(※1)</li> <li>・研修会(※2)</li> </ul>
	<p>生徒指導力を</p> <p>教職員間で、児童生徒の生活状況の共通理解を図る。そして、改善のための対応策を考え、実行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導委員会</li> </ul>	<p>教育実践(OJT)</p> <p>生徒指導の機能を生かした学習指導を心掛ける。 基本的な生活習慣や規範意識について指導の徹底を図る。 問題行動に対し、教員間で協力し、すぐに対応する。</p>	<p>個人研修</p> <p>生徒指導提要、生徒指導の充実のために(県教委)などを熟読し、生徒指導について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導提要(文科省)</li> <li>・生徒指導リーフ(国政研)</li> <li>・生徒指導の役割連携の推進に向けて(国政研)</li> </ul>	<p>校外研修</p> <p>生徒指導の意義、生活習慣についての指導、規範意識の醸成、いじめや問題行動等に関する研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会(※1)</li> <li>・研修会(※2)</li> </ul>
	<p>学びを支える授業力</p> <p>校内授業研究で、最低年1回は授業を行い、先輩・同僚からの指導・助言をもらい、改善に努める。同僚の授業を参観し、参考にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案検討 ⇒授業実践 ⇒事後検討</li> </ul>	<p>教育実践(OJT)</p> <p>教材研究をもとにして授業構成を考え児童生徒にとって分かる、楽しい授業を実践する。 日々の授業実践を相互参観し、意見交換をする。</p>	<p>個人研修</p> <p>学習指導要領などを熟読し授業についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領解説</li> <li>・新学習指導要領Q&amp;A(文科省)</li> <li>・授業づくりガイドブック(総セ)</li> <li>・児童生徒の学習評価の在り方について(報告)(文科省H22)</li> <li>・授業テクニカルアドバイス(総セ)</li> <li>・評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校H23)(中学校H23)(高等学校H24,25)</li> <li>・総合的な学習の時間における評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校H23)(中学校H23)(高等学校H24)</li> <li>・楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)(国政研H25)</li> </ul>	<p>校外研修</p> <p>授業力、学習指導教科等に関する研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開研究会</li> <li>・ちば「授業練磨の公開日」(県教委)</li> <li>・研修会(※1)</li> <li>・研修会(※2)</li> </ul>

資質能力		校内研修	教育実践(OJT)	個人研修	校外研修
教育の専門家としての確かな力量	小学校教諭	<p>校内授業研究で、授業を行い、先輩・同僚からの指導・助言をもらい、改善に努める。同僚の授業を参観し、参考にする。</p> <p>校内研究により、指導の専門性を高めるように努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会</li> <li>・要請訪問</li> <li>・校内研究</li> </ul>	<p>合科的・関連的な指導や児童の興味をもとにした授業に心がける。</p> <p>学習のきまりや生活習慣が身に付くように指導する。</p> <p>担当学年の発達段階に応じた指導をする。</p>	<p>文部科学省、県教委、総セ等からの出版物や教育専門書をもとに、学習指導、学級経営等についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級づくりガイドブック(総セ)</li> <li>・学びの突破口ガイド(県教委)</li> <li>・ちばっ子チャレンジ100(県教委)</li> <li>・中学校外国語科との円滑な接続を図る小学校外国語活動(総セ)</li> </ul>	<p>小学校教諭としての力量を高める各種研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異校種の授業参観</li> <li>・教師力アップいつでも研修(総セ)</li> <li>・魅力ある授業づくりの達人(県教委)</li> <li>・体育の授業マイスター認定事業(県教委)</li> <li>・研修会(※1)</li> <li>・研修会(※2)</li> <li>・ちば「授業練磨の公開日」(県教委)</li> </ul>
	中・高等学校教諭	<p>校内授業研究で、授業を行い、先輩・同僚からの指導・助言をもらい、改善に努める。同僚の授業を参観し、参考にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年会</li> <li>・教科・領域部会</li> <li>・要請訪問</li> <li>・校内研究</li> </ul>	<p>担当教科の分かる授業、楽しい授業に心がける。</p> <p>生徒一人一人の個性を理解し、進路指導に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材研究</li> <li>・指導法の工夫</li> <li>・進学、就職等に関わる適切な情報提供</li> </ul>	<p>担当教科についての専門性や進路指導の力を高めるため、文部科学省、県教委、総セ等からの出版物や教育専門書を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちばのやる気」学習ガイド(県教委)</li> <li>・私の授業レシピ(総セ)</li> </ul>	<p>中・高等学校教諭としての力量を高める各種研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちば「授業練磨の公開日」(県教委)</li> <li>・異校種の授業参観</li> <li>・教師力アップいつでも研修(総セ)</li> <li>・研修会(※1)</li> <li>・研修会(※2)</li> </ul>
	特別支援学校教諭	<p>校内授業研究で、授業を行い、先輩・同僚からの指導・助言をもらい、改善に努める。同僚の授業を参観し、自分にできそうなことを取り入れ、実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部研究会</li> <li>・学年会</li> <li>・校内研究会</li> </ul>	<p>児童生徒の実態を的確に把握し、個別の指導計画を立て、一人一人のニーズに応じて、児童生徒が分かりやすく、楽しい、面白い、できたと充実感のもてる支援・指導をする。</p> <p>TTを組む教員と事前事後の話合いや打合せを綿密に行う。</p> <p>児童生徒から学ぶ姿勢をもち、児童生徒と共に充実した体験を積む。</p>	<p>障害の状態や発達の段階に応じた専門的指導技術を高めるために、文部科学省、国立特別支援教育総合研究所、県教委、総セ等からの出版物や教育専門書を読んだり、視聴覚教材を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自閉症のある子どもへの支援 他(総セ)</li> <li>・発達障害教育情報センター研修講義(動画)</li> <li>・各特別支援学校実践報告等</li> <li>・国立特別支援教育総合研究所Web</li> </ul>	<p>特別支援教育に関する研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちば「授業練磨の公開日」(県教委)</li> <li>・他の特別支援学校の公開研究会</li> <li>・小,中,特別支援学校の特別支援教育研修会</li> <li>・研修会(※1)</li> <li>・研修会(※2)</li> </ul>



資質能力		校内研修	教育実践(OJT)	個人研修	校外研修
教育の専門家としての確かな力量	校種・職種に応じた専門的知見	<p>養護教諭（保健教育）</p> <p>食育，薬物乱用防止教育，エイズ教育，生活習慣病の予防，目の健康，歯磨き指導等についての校内研修を実施する。</p> <p>学級活動，体育保健領域，保健体育の指導のための資料の提供をする。</p>	<p>保健だよりや保健室掲示により保健に関わる情報を発信する。</p> <p>不登校児童等の心の健康問題を抱える児童生徒に対し，情緒の安定を図る対応や予防のための健康相談を行う。</p>	<p>保健教育，健康相談について知識や技能を高めるために，文部科学省，県教委等からの出版物や教育専門書を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領及び解説（特別活動，保健体育）</li> <li>・子どもの心のケアのために-災害や事件事故発生率を中心に-（文科省H24）</li> <li>・教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引き（文科省H23）</li> </ul>	<p>食育，薬物乱用防止教育，性教育，エイズ教育，健康相談ヘルスプロモーションスクールなどに関する研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市町村養護教諭会，保健所等主催の研修会</li> <li>・研修会（※1）</li> <li>・研修会（※2）</li> </ul>
	養護教諭（保健管理）	<p>健康診断，感染症健康管理が必要な児童生徒の対応，救急処置等についての校内研修を実施する。</p> <p>校内救急体制について全教職員の共通理解を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議</li> <li>・学校保健委員会</li> </ul>	<p>保健室経営計画を作成しPDCAサイクルに沿った経営に努める。</p> <p>健康観察の適切な実施と結果の活用を図り，感染症，いじめ，不登校傾向等の早期発見や健康課題の把握及び解決に努める。</p> <p>児童生徒のけがや病気の状況把握に努める。</p> <p>アレルギーに関わる児童生徒への指導とその記録をする。</p> <p>日常点検により，環境衛生の推進，改善をする。</p>	<p>保健管理について知識を高めるため，文部科学省，県教委等からの出版物や教育専門書を読む。</p> <p>学校医，学校歯科医，学校薬剤師から情報を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応（文科省H21）</li> </ul>	<p>保健室経営等に関する研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市町村養護教諭会，保健所等主催の研修会</li> </ul>
	新たな課題に対応	<p>今日的な教育課題についての校内研修に参加する。</p> <p>学校教育指導の指針について理解を深める。</p> <p>学校評価の結果に基づき，新たな改善点を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議</li> <li>・学校評価委員会</li> </ul>	<p>今日的な教育課題（情報教育，環境教育，ものづくり，食育，キャリア教育，安全教育，心身の成長発達についての正しい理解）等に関わる指導をする。</p>	<p>中教審答申，学習指導要領，今日的な教育課題等について，教育専門書，インターネット等により学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文科省Web</li> <li>・県教委Web</li> <li>・総セWeb</li> </ul>	<p>今日的な教育課題に関する研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開研究会</li> <li>・研修会（※1）</li> <li>・研修会（※2）</li> </ul>

資質能力	校内研修	教育実践(OJT)	個人研修	校外研修
総合的な人間力	<p>識社会人としての教養</p> <p>電話対応, 来客対応, 訪問のマナー, 身だしなみ等の基本を学ぶ。 地域の出来事, 事物について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員打合せ(接遇)</li> <li>・地域探訪</li> <li>・さわやか先生(総セ)</li> </ul>	<p>児童生徒に, 社会の出来事や社会常識などについて話をする。 児童生徒, 保護者地域住民に対して適切な言葉遣いや対応を心掛ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会</li> <li>・個人面談</li> </ul>	<p>様々な書籍を読んだり, 新聞等マスメディアから情報を収集し, 社会の情勢についての情報を入手する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会</li> <li>・読書</li> <li>・芸術鑑賞など</li> </ul>	<p>一般社会人としての常識や教養を深めるために, 研修会や講演会等に積極的に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会</li> </ul>
	<p>対人関係能力</p> <p>エンカウンター等について研修し, 自分や他者への気づきを深めさせ, お互いを認め合う力量を培う。 協議会に積極的に参加し, 相手の考えを受け止めたり, 自分の考えを発言したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を核とした「県内1000か所ミニ集会」</li> </ul>	<p>児童生徒の話をうなずきながら聞き, 一人の人間として尊重した対応をする。 保護者及び地域住民と良好な人間関係を築くために相互理解を図る。</p>	<p>様々な人と会話をしたり, 一緒に活動するよう心掛ける。 ソーシャルスキル等についての書籍を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県NPO・ボランティア情報ネット(県Web)</li> </ul>	<p>コミュニケーション能力や人権感覚を高めるための研修会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会(※1)</li> <li>・研修会(※2)</li> </ul>
	<p>協働・連携していく姿勢</p> <p>学年会や行事打合せの際に, 自分の考えを積極的に発言したり, 同僚の意見をもとに共通理解を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導委員会</li> <li>・各種プロジェクトチーム</li> </ul>	<p>同学年の教員に相談や打合せを密にして学習指導や生徒指導をする。 学校行事等は, 担当の仕事を実践にやり遂げるとともに, 他人の進行状況を気にかける。 学級だより等により学校の様子を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から発信する家庭教育支援プログラム(県教委)</li> </ul>	<p>児童生徒の教育のために, 保護者面談の効果的な方法を書き等で学ぶ。 地域行事への参加を通して, 地域の団体や住民と相互理解を深める。</p>	<p>教育, 家庭, 地域等をキーワードとした講演会や講座に参加するなどして知識の向上や実践に役立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会</li> <li>・研修会(※1)</li> <li>・研修会(※2)</li> </ul>
	<p>心身ともに健康</p> <p>職場内レクリエーションに参加し, 心身のリフレッシュを図るとともに, 他の職員と親睦を図る。 環境衛生委員会等を通し, よりよい職場環境づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内レクリエーション</li> <li>・研修視察</li> </ul>	<p>児童生徒と一緒に体を動かす。</p>	<p>定期的に健康診断したり, 早期治療をして, 自分の健康管理をする。 気分転換できるものを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツクラブ</li> <li>・趣味</li> <li>・メンタルヘルス相談</li> </ul>	<p>メンタルヘルス等の研修会に参加する。</p>

資質能力		校内研修	教育実践(OJT)	個人研修	校外研修
総合的な人間力	豊かな人間性	日常の同僚，先輩の言動を観察し，よさを学ぶ。 道徳をはじめ人の生き方を考える機会にふれる。	人の優れた実践に注目したり，認めたりして，それを児童生徒に紹介する。	読書や旅行，スポーツ，文化活動などの趣味をもつ。 居住地の地域行事等に参加し，様々な人と出会い，語らう機会をもつ。  ・ごみゼロ運動 ・趣味 ・千葉県NPO・ボランティア情報ネット(県Web)	人間性の向上に資する講演会や講座に参加したり，芸術にふれたりする機会をもつ。

### (3) 研修や教育活動の実践

①留意点に気をつけて、実践しましょう。

**計画に従って、実践しましょう。**

「自分で授業を行い、人に見られ、人から助言を受けること」が、授業力アップへの近道です。

<実践上の留意点>

- (1) 研修テーマを常に意識しながら、取り組む。
- (2) 職場の先輩、同僚に相談したり、見てもらったり、聞いてもらったりする。
- (3) 校外研修に参加したら、得た知識や技能を日ごろの実践に使ってみる。
- (4) 場合によっては、実践をしながら計画を見直すことも考える。



②実践したことを記録しましょう。

**実践内容や気づいたことなどを記録しましょう。**

<記録の仕方(例)>

実践したことが思い出せるように、簡単に記録する。

- ・期日
- ・研修を受けた内容, 教育実践した内容
- ・子どもの反応
- ・勉強になったこと, 新しく発見したこと
- ・気づいたこと, 今後に生かしたいこと など

研修等で使用した資料は、クリアファイル等にまとめておきましょう。



「研修計画書の6」に実践したことを記入しましょう。

(記入例)

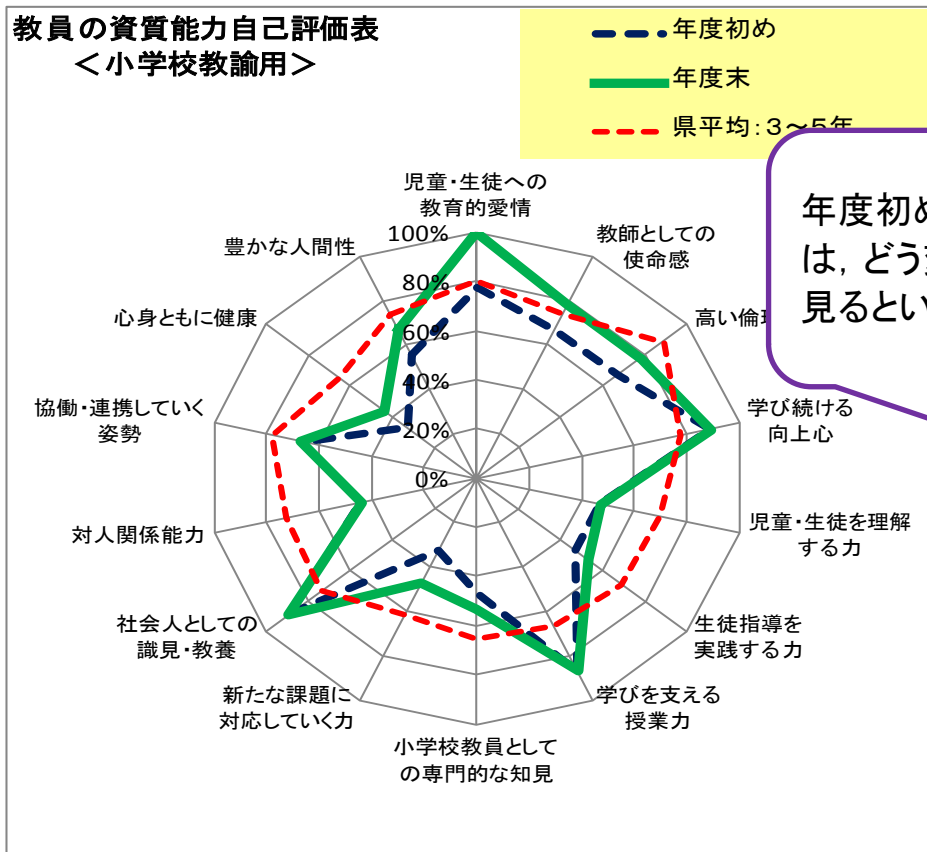
#### 6. 実践したことを記録しましょう。

	記	録
⇒	6月10日	生徒指導提要を読む。「生徒指導は、個々の児童生徒の自己指導能力を育成するもの。自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の3つに留意する。」
⇒	4月20日	学年会で、児童の生活の様子を話し合い、基本的生活習慣の徹底を図ることとした。
	5月12日	掃除の取りかかりが早くなってきた。
⇒	7月24日	「教育相談研修」に参加する。不登校児童についての理解と対応について学んだ。

#### (4)実践の振り返り

①自分の成長を振り返ってみましょう。

自己評価表「年度末」の欄に4～1の値を入力しましょう。



年度初めと年度末では、どう変わったかを見るといいですね。



②今年度実践した成果と課題をまとめてみましょう。

研修テーマについての実践を振り返りましょう。

＜成果と課題を振り返る視点＞

- (1) 研修テーマを中心に、各評価項目について「年度初め」と「年度末」の集計データを比べる。
- (2) 実践の記録を見直して、1年を通して学んだこと、実践に生かしたことをまとめてみる。

【成果】研修テーマについての取組の中で、有益だったこと(心に残ったこと、新たに知ったこと、できるようになったことなど)をまとめる。

【課題】研修テーマについての取組の中で、まだできていないことやわからないことをまとめ、できなかった原因を考える。

「研修計画書の8」に成果と課題を記入しましょう。

(記入例)

### 8. 今年度実施した成果と課題をまとめてみましょう。

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 生徒指導面において、学年で共通理解を図りながら指導を続けたことで、ルールを守らせることができるようになった。</li><li>○ 研修会や書籍を通して、生徒指導について理解を深めることができた。</li><li>■ 教育相談の手法について学んだが、まだ十分に生かし切れていない。</li><li>■ 不登校児童について、さらに保護者との連携を深め、対応する必要性を感じた。</li></ul>
-------	--

③次年度取り組んでみようと思うことをまとめてみましょう。

**今年度の実践を振り返り、次年度の見通しをもてるようにしましょう。**

<次年度の見通しをもつために>

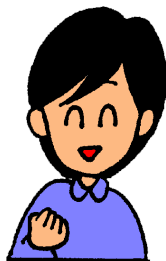
- (1) 自分を振り返り、成果と課題をもとに、次年度取り組みたいことをまとめる。
- (2) 職場の先輩・同僚に、今年度の実践内容や成果と課題を報告し、助言を受ける。
  - ・今年度の成果をさらに追求しようとする。
  - ・今年度できなかったものを引き続き挑戦すること。

「研修計画書の9」に次年度取り組んでみようと思うことを記入しましょう。

(記入例)

### 9. 次年度取り組んでみようと思うことをまとめてみましょう。

次年度の取組	年度末の自己評価で低かった「新たな課題へ対応していく力」について、特にICTを活用した指導技術を身につけ、授業に生かせるようになりたい。 また、教育相談の手法についてはさらに勉強し、意識的に実践に生かしていきたい。
--------	--



パソコン上のシートは、10年間分作成してあります。年度末の自己評価の結果が次年度の年度初めのグラフに連動しています。毎年続けることで、自らの資質能力が振り返れます。学び続ける教員であるためにも活用してみましょう。

## 5. 協力校の実践

研究協力校（平成24年度～25年度）

- ・成田市立津富浦小学校
- ・東金市立城西小学校
- ・一宮町立一宮中学校
- ・県立鎌ヶ谷西高等学校
- ・県立松戸特別支援学校

### 「自己評価は有効です！」

・自己の抱える課題だけでなく良い点にも気づかせて頂き、どこを目指せばよいのかが明確になりました。自分を知る上でも、この自己評価表は有効であると感じました。

### 「自らの課題が明確になります！」

・自己評価表でグラフ化されることで自分自身が漠然と思っていた課題が明確になりました。また、同じ経験年数の方のデータと比較できることでより意欲が高まりました。

## やってよかった「能動的自立研修」

研究協力校の実践から

### 「自らの成長につながります！」

・自己評価表への記入，レーダーチャートの値等を通して教職員としての自分と向き合う良い機会となりました。また，重点的に取り組む研修テーマとその計画を文字や文面にすることで課題が明確になり意識的に取り組むことで，自分の資質向上につながると感じました。

・年度初めの自己評価表により，自分を見つめ直すことができ，今の状況と課題が分かりました。また，課題に重点を置くことで自分を成長させることができ，ちょっと意識して取り組むことが大きな成長につながることを実感しました。

### 「こんな場面で効果的です！」

・「フォローアップ研修Ⅰ」において課題研究計画書の作成を進める上でとても役に立ちました。

・目標申告にリンクする形で行いました。自己評価表があったことで，欠けている点分かり，また，振り返りをする中で，意識の変化があったことが，改めてわかったように思います。

・グループを作って取り組むと，先輩や後輩など他の教員の考えを参考にできたり，自らを客観的に振り返ったりできるので，より効果的に進められると思いました。

教員の資質能力 自己評価表

<小学校教諭>

資料1

4…とてもあてはまる 3…おおむねあてはまる 2…あまりあてはまらない 1…まったくあてはまらない

資質能力	No	評 価 項 目	年度初め	年度末		
教職に対する強い情熱	児童生徒への教育的愛情	1	児童の思いや考えを頭ごなしに否定せず、受け止めている。			
		2	児童の希望や願いを理解し、労を惜しまず支援している。			
		3	児童が成長した姿をみると、教師としての喜びを感じる。			
	教師としての使命感	4	児童一人一人の自己実現を願い、日々、教育活動に取り組んでいる。			
		5	学習の内容をすべての児童に理解させるように努めている。			
		6	保護者や地域住民等の願いを受け止め、教育活動に反映するように努めている。			
	高い倫理観	7	服務規律や職務命令等法令や規則に従って仕事をしている。			
		8	上司や同僚に報告・連絡・相談することを心がけている。			
		9	飲酒運転、セクハラ・わいせつ行為、体罰、情報漏えい等不祥事防止に取り組んでいる。			
	学び続ける向上心	10	経験年数や職務内容に応じ、積極的に研修に取り組んでいる。			
		11	目標としている先輩教員や理想の教師像を持ち、その実現に努めている。			
		12	自分の指導を振り返ったり、他の意見を聞いたりして、日々指導力向上に努めている。			
教育の専門家としての確かな力量	児童生徒を理解する力	13	児童一人一人の行動や学習の状況を記録し、指導に生かしている。			
		14	児童の成長や発達の段階に応じた指導の在り方を理解している。			
		15	忙しい時でも、児童一人一人とコミュニケーションを図る時間を作っている。			
		16	受容的態度で、まず児童の話をよく聞くようにしている。			
		17	信頼関係構築のために、すべての児童の人権に配慮し、公平公正に接している。			
	生徒指導を実践する力	18	適切なルールを設け、児童相互の好ましい人間関係づくりに努めるなど、安心して過ごせる学びの場を維持している。			
		19	教育相談の手法を身に付け、児童にとって適切な援助を行っている。			
		20	学習指導や生活指導に特別な配慮が必要な児童への支援の手立てを考えて指導にあたっている。			
		21	事故や災害時の対応を十分理解し、状況に応じて適切に行動できる。			
		22	児童の実態に応じ、校内・校外の組織等と連携・協力している。			
	学びを支える授業力	23	児童の実態と指導する学習内容を把握し、学習計画を構想している。			
		24	基本的な学習ルールを定着させ、発問・指示・説明を使い分けて授業展開している。			
		25	学習前学習後の実態から児童の変容を把握している。			
		26	授業の中での評価を生かし、一人一人の指導と支援に当たるなど、指導と評価の一体化を図っている。			
		27	授業評価を行うなど、日々の授業を振り返り、授業改善に努めている。			
	小学校教員としての専門的な知見	28	学習指導要領の内容を理解している。			
		29	指導の効果を高めるため、教科・領域等のつながりを考えた合科的・関連的な指導をしている。			
		30	専門的な知識を備え、指導が得意な教科等がある。			
		31	児童の興味関心を引き出しながら指導している。			
		32	児童に基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。			
	新たな課題に対応していく力	33	学校教育指導の指針を理解し、指導の改善に努めている。			
		34	学校評価の結果から課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。			
		35	キャリア教育や情報教育、食育等の今日的な教育課題を理解している。			
		36	携帯電話・インターネット等について、適切な利用方法を理解し、指導している。			
		37	ICTの活用など新しい指導技術を実践に取り入れるよう努めている。			
	総合的な人間力	社会人としての識見・教養	38	日頃から礼儀や言葉遣い、身だしなみを意識して行動している。		
			39	様々なメディアを通し、社会の出来事について情報を取り込むように心がけている。		
			40	公共のマナーやルールを理解し、行動している。		
		対人関係能力	41	日頃から保護者や地域住民等との適切な信頼関係づくりに努めている。		
			42	相手の考えを柔軟に受け止め、自分の考えを分かりやすく伝えている。		
			43	誰に対しても誠意を持って真摯な態度で接している。		
		協働・連携していく姿勢	44	授業づくりや生徒指導、学校行事等に、他の教職員と協力して取り組んでいる。		
45			担当する校務を進めるとともに、同僚の仕事を気にかけて、協力しようと心がけている。			
46			児童の教育のために、保護者と協力して取り組んでいる。			
心身ともに健康		47	日頃から適度な運動を心がけるなど、自分の健康管理を行っている。			
		48	適切な手段でストレスを解消している。			
		49	同僚の健康にも気遣い、よりよい職場環境づくりに心がけている。			
豊かな人間性	50	他者を思いやったり、敬意を感じたりする気持ちを大切にしている。				
	51	地域行事への参加や協力など地域社会に貢献している。				
	52	社会的立場を自覚し、責任ある行動をしている。				



教員の資質能力 自己評価表

＜中学校・高等学校教諭＞

資料1

4…とてもあてはまる 3…おおむねあてはまる 2…あまりあてはまらない 1…まったくあてはまらない

資質能力	No	評 価 項 目	年度初め	年度末	
教職に対する強い情熱	児童生徒への教育的愛情	1	生徒の思いや考えを頭ごなしに否定せず、受け止めている。		
		2	生徒の希望や願いを理解し、労を惜しまず支援している。		
		3	生徒が成長した姿をみると、教師としての喜びを感じる。		
	教師としての使命感	4	生徒一人一人の自己実現を願い、日々、教育活動に取り組んでいる。		
		5	学習の内容をすべての生徒に理解させるように努めている。		
		6	保護者や地域住民等の願いを受け止め、教育活動に反映するように努めている。		
	高い倫理観	7	服務規律や職務命令等法令や規則に従って仕事をしている。		
		8	上司や同僚に報告・連絡・相談することを心がけている。		
		9	飲酒運転、セクハラ・わいせつ行為、体罰、情報漏えい等不祥事防止に取り組んでいる。		
	学び続ける向上心	10	経験年数や職務内容に応じ、積極的に研修に取り組んでいる。		
		11	目標としている先輩教員や理想の教師像を持ち、その実現に努めている。		
		12	自分の指導を振り返ったり、他の意見を聞いたりして、日々指導力向上に努めている。		
教育の専門家としての確かな力量	児童生徒を理解する力	13	生徒一人一人の行動や学習の状況を記録し、指導に生かしている。		
		14	生徒の成長や発達の段階に応じた指導の在り方を理解している。		
		15	忙しい時でも、生徒一人一人とコミュニケーションを図る時間を作っている。		
		16	受容的態度で、まず生徒の話をよく聞くようにしている。		
		17	信頼関係構築のために、すべての生徒の人権に配慮し、公平公正に接している。		
	生徒指導を実践する力	18	適切なルールを設け、生徒相互の好ましい人間関係づくりに努めるなど、安心して過ごせる学びの場を維持している。		
		19	教育相談の手法を身に付け、生徒にとって適切な援助を行っている。		
		20	学習指導や生活指導に特別な配慮が必要な生徒への支援の手立てを考えて指導にあたっている。		
		21	事故や災害時の対応を十分理解し、状況に応じて適切に行動できる。		
		22	生徒の実態に応じ、校内・校外の組織等と連携・協力している。		
	学びを支える授業力	23	生徒の実態と指導する学習内容を把握し、学習計画を構想している。		
		24	基本的な学習ルールを定着させ、発問・指示・説明を使い分けて授業展開している。		
25		学習前学習後の実態から生徒の変容を把握している。			
26		授業の中での評価を生かし、一人一人の指導と支援に当たるなど、指導と評価の一体化を図っている。			
27		授業評価を行うなど、日々の授業を振り返り、授業改善に努めている。			
中・高教員としての専門的な知見	28	学習指導要領の内容を理解している。			
	29	生徒の興味関心を引き出す指導をしている。			
	30	専門的な知識を高めるために最新の情報を入手している。			
	31	教科の専門的な知識と指導技術を身に付けている。			
	32	一人一人の生徒に応じた進路指導をしている。			
新たな課題に対応していく力	33	学校教育指導の指針を理解し、指導の改善に努めている。			
	34	学校評価の結果から課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。			
	35	キャリア教育や情報教育、食育等の今日的課題を理解している。			
	36	携帯電話・インターネット等について、適切な利用方法を理解し、指導している。			
	37	ICTの活用など新しい指導技術を実践に取り入れるよう努めている。			
総合的な人間力	社会人としての識見・教養	38	日頃から礼儀や言葉遣い、身だしなみを意識して行動している。		
		39	様々なメディアを通し、社会の出来事について情報を取り込むように心がけている。		
		40	公共のマナーやルールを理解し、行動している。		
	対人関係能力	41	日頃から保護者や地域住民等との適切な信頼関係づくりに努めている。		
		42	相手の考えを柔軟に受け止め、自分の考えを分かりやすく伝えている。		
		43	誰に対しても誠意を持って真摯な態度で接している。		
	協働・連携していく姿勢	44	授業づくりや生徒指導、学校行事等に、他の教職員と協力して取り組んでいる。		
		45	担当する校務を進めるとともに、同僚の仕事を気にかけて、協力しよう心がけている。		
		46	生徒の教育のために、保護者と協力して取り組んでいる。		
	心身ともに健康	47	日頃から適度な運動を心がけるなど、自分の健康管理を行っている。		
		48	適切な手段でストレスを解消している。		
		49	同僚の健康にも気遣い、よりよい職場環境づくりに心がけている。		
豊かな人間性	50	他者を思いやったり、敬意を感じたりする気持ちを大切にしている。			
	51	地域行事への参加や協力など地域社会に貢献している。			
	52	社会的立場を自覚し、責任ある行動をしている。			

教員の資質能力 自己評価表

<特別支援学校教諭>

資料1

4…とてもあてはまる 3…おおむねあてはまる 2…あまりあてはまらない 1…まったくあてはまらない

資質能力	No	評 価 項 目	年度初め	年度末	
教職に対する強い情熱	児童生徒への教育的愛情	1	児童生徒の思いや考えを頭ごなしに否定せず、受け止めている。		
		2	児童生徒の希望や願いを理解し、労を惜みず支援している。		
		3	児童生徒が成長した姿をみると、教師としての喜びを感じる。		
	教師としての使命感	4	児童生徒一人一人の自己実現を願い、日々、教育活動に取り組んでいる。		
		5	個別のニーズに応じた学習の内容を児童生徒に理解させるように努めている。		
		6	保護者や地域住民等の願いを受け止め、教育活動に反映するように努めている。		
	高い倫理観	7	服務規律や職務命令等法令や規則に従って仕事をしている。		
		8	上司や同僚に報告・連絡・相談することを心がけている。		
		9	飲酒運転、セクハラ・わいせつ行為、体罰、情報漏えい等不祥事防止に取り組んでいる。		
	学び続ける向上心	10	経験年数や職務内容に応じ、積極的に研修に取り組んでいる。		
		11	目標としている先輩教員や理想の教師像を持ち、その実現に努めている。		
		12	自分の指導を振り返ったり、他の意見を聞いたりして、日々指導力向上に努めている。		
教育の専門家としての確かな力量	児童生徒を理解する力	13	児童生徒一人一人の行動や学習の状況を記録し、指導に生かしている。		
		14	児童生徒の成長や発達の段階に応じた指導の在り方を理解している。		
		15	忙しい時でも、児童生徒一人一人とコミュニケーションを図る時間を作っている。		
		16	受容的態度で、まず児童生徒の話をよく聞くようにしている。		
		17	信頼関係構築のために、すべての児童生徒の人権に配慮し、公平公正に接している。		
	生徒指導を実践する力	18	適切なルールを設け、児童生徒相互の好ましい人間関係づくりに努めるなど、安心して過ごせる学びの場を維持している。		
		19	教育相談の手法を身に付け、児童生徒にとって適切な援助を行っている。		
		20	学習指導や生活指導に特別な配慮が必要な児童生徒への支援の手立てを考えて指導にあたっている。		
		21	事故や災害時の対応を十分理解し、状況に応じて適切に行動できる。		
		22	児童生徒の実態に応じ、校内・校外の組織等と連携・協力している。		
	学びを支える授業力	23	児童生徒の実態を把握し、指導内容・方法を工夫するなどして学習計画を構想している。		
		24	基本的な学習ルールを定着させたり、学習環境を整えたりして授業展開している。		
		25	学習前学習後の実態から児童生徒の変容を把握している。		
		26	授業の中での評価を生かし、一人一人の指導と支援に当たるなど、指導と評価の一体化を図っている。		
		27	授業評価を行うなど、日々の授業を振り返り、授業改善に努めている。		
	特別支援学校教員としての専門的な知見	28	学習指導要領の内容を理解している。		
		29	障害の状態や発達の段階に対応した知識や理解、専門的な指導技術を持っている。		
		30	児童生徒への行動観察、心理検査や保護者等への調査面接により情報を収集できる。		
31		「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」をもとに、適切な指導ができる。			
32		一人一人の児童生徒の自立と社会参加に向けた指導をしている。			
新たな課題に対応していく力	33	学校教育指導の指針を理解し、指導の改善に努めている。			
	34	学校評価の結果から課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。			
	35	キャリア教育や情報教育、食育等の今日的な教育課題を理解している。			
	36	携帯電話・インターネット等について、適切な利用方法を理解し、指導している。			
	37	ICTの活用など新しい指導技術を実践に取り入れるよう努めている。			
総合的な人間力	社会人としての識見・教養	38	日頃から礼儀や言葉遣い、身だしなみを意識して行動している。		
		39	様々なメディアを通し、社会の出来事について情報を取り込むように心がけている。		
		40	公共のマナーやルールを理解し、行動している。		
	対人関係能力	41	日頃から保護者や地域住民等と適切な信頼関係づくりに努めている。		
		42	相手の考えを柔軟に受け止め、自分の考えを分かりやすく伝えている。		
		43	誰に対しても誠意を持って真摯な態度で接している。		
	協働・連携していく姿勢	44	授業づくりや生徒指導、学校行事等に、他の教職員と協力して取り組んでいる。		
		45	担当する校務を進めるとともに、同僚の仕事を気にかけて、協力しよう心がけている。		
		46	児童生徒の教育のために、保護者と協力して取り組んでいる。		
	心身ともに健康	47	日頃から適度な運動を心がけるなど、自分の健康管理を行っている。		
		48	適切な手段でストレスを解消している。		
		49	同僚の健康にも気遣い、よりよい職場環境づくりに心がけている。		
豊かな人間性	50	他者を思いやったり、敬意を感じたりする気持ちを大切にしている。			
	51	地域行事への参加や協力など地域社会に貢献している。			
	52	社会的立場を自覚し、責任ある行動をしている。			

※ 評価項目内の児童生徒には、幼児を含んでいます。

教員の資質能力 自己評価表

<養護教諭>

資料1

4…とてもあてはまる 3…おおむねあてはまる 2…あまりあてはまらない 1…まったくあてはまらない

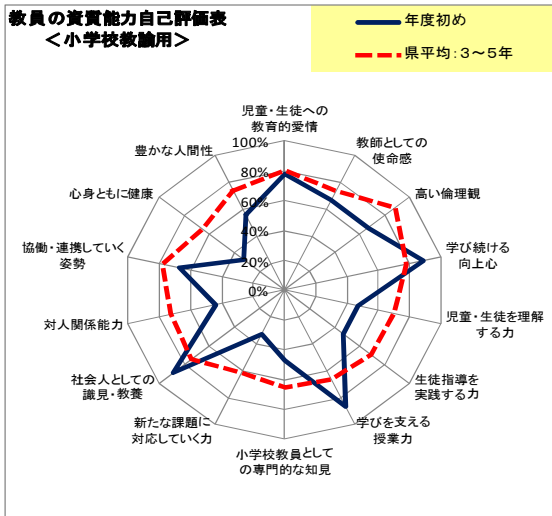
資質能力	No	評 価 項 目	年度初め	年度末	
教職に対する強い情熱	児童生徒への教育的愛情	1 児童生徒の思いや考えを頭ごなしに否定せず、受け止めている。			
		2 児童生徒の希望や願いを理解し、労を惜しまず支援している。			
		3 児童生徒が成長した姿をみると、教師としての喜びを感じる。			
	教師としての使命感	4 児童生徒一人一人の健康安全を願い、指導している。			
		5 健康の保持増進をすべての児童生徒に理解させるように努めている。			
		6 保護者や地域住民等の願いを受け止め、教育活動に反映するように努めている。			
	高い倫理観	7 服務規律や職務命令等法令や規則に従って仕事をしている。			
		8 上司や同僚に報告・連絡・相談することを心がけている。			
		9 飲酒運転、セクハラ・わいせつ行為、体罰、情報漏えい等不祥事防止に取り組んでいる。			
	学び続ける向上心	10 経験年数や職務内容に応じ、積極的に研修に取り組んでいる。			
		11 目標としている先輩養護教諭や理想の養護教諭像を持ち、その実現に努めている。			
		12 自分の指導を振り返ったり、他の意見を聞いたりして、養護教諭としての力量向上に努めている。			
教育の専門家としての確かな力量	児童生徒を理解する力	13 児童生徒一人一人の行動や健康状態及び生活環境を把握し、指導に生かしている。			
		14 児童生徒の成長や発達段階に応じた指導の在り方を理解している。			
		15 忙しい時でも、児童生徒とのコミュニケーションを図る時間を作っている。			
		16 受容的態度で、まず児童生徒の話をよく聞くようにしている。			
		17 信頼関係構築のために、すべての児童生徒の人権に配慮し、公平公正に接している。			
	生徒指導を実践する力	18 適切なルールを設け、児童相互の好ましい人間関係づくりに努めるなど、安心して過ごせる学びの場を維持している。			
		19 教育相談の手法を身に付け、児童生徒にとって適切な援助を行っている。			
		20 学習指導や生活指導に特別な配慮が必要な児童生徒への支援の手立てを考えて指導にあたっている。			
		21 事故や災害時の対応を十分理解し、状況に応じて適切に行動できる。			
		22 児童生徒の実態に応じ、校内・外の組織等と連携・協力している。			
	保健教育に関する専門的知見	23 健康診断や健康相談活動を通して、児童生徒の心身の健康状態を把握し、健康づくりに努めている。			
		24 児童生徒の実態と指導する学習内容を把握し、学校保健計画及び学校安全計画づくりに参画している。			
		25 「保健」の領域の指導を担当したり、チームティーチングで指導している。			
		26 学級活動やホームルーム活動での保健指導に専門的な助言や資料提供をしている。			
		27 家庭・地域に対して「保健だより」などにより、学校保健の啓発に努めている。			
	保健管理に関する専門的知見	28 継続的な健康管理が必要な児童生徒の対応を全教職員へ周知している。			
		29 児童生徒のけがや疾病の処置、感染症の予防と対策等に迅速に対応している。			
		30 保健室使用のルールを決めたり、諸帳簿や設備・備品の管理を適切に行っている。			
		31 学校環境衛生の保持のため、日常的な点検と改善に努めている。			
		32 学校医、学校歯科医や学校薬剤師及び地域関係機関等と連携を密にし、適切な協力が得られるように努めている。			
	新たな課題に対応していく力	33 学校教育指導の指針を理解し、指導の改善に努めている。			
		34 学校評価の結果から課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。			
		35 キャリア教育や情報教育、食育等の今日的な教育課題を理解している。			
		36 児童生徒の心身の成長発達について課題を理解し、指導している。			
		37 ICTの活用など新しい指導技術を実践に取り入れるよう努めている。			
	総合的な人間力	社会人としての識見・教養	38 日頃から礼儀や言葉遣い、身だしなみを意識して行動している。		
			39 様々なメディアを通し、社会の出来事について情報を取り込むように心がけている。		
			40 公共のマナーやルールを理解し、行動している。		
		対人関係能力	41 日頃から保護者や地域住民等との適切な信頼関係づくりに努めている。		
			42 相手の考えを柔軟に受け止め、自分の考えを分かりやすく伝えている。		
			43 誰に対しても誠意を持って真摯な態度で接している。		
		協働・連携していく姿勢	44 生徒指導、学校行事等に、他の教職員と協力して取り組んでいる。		
45 担当する校務を進めるとともに、同僚の仕事を気にかけ、協力しようと心がけている。					
46 児童生徒の教育のために、保護者と協力して取り組んでいる。					
心身ともに健康		47 日頃から適度な運動を心がけるなど、自分の健康管理を行っている。			
		48 適切な手段でストレスを解消している。			
		49 同僚の健康にも気遣い、よりよい職場環境づくりに心がけている。			
豊かな人間性	50 他者を思いやったり、敬意を感じたりする気持ちを大切にしている。				
	51 地域行事への参加や協力など地域社会に貢献している。				
	52 社会的立場を自覚し、責任ある行動をしている。				

# 研修計画書 (研修の記録)

※ 項目の文字をクリックすると手引きの該当ページが表示されます。

氏名 \_\_\_\_\_

## 1. 自分の資質能力を振り返りましょう。(自己評価表の年度初めの欄に入力してください。)



経験年数のボタンをクリックしてください。

## 2. 県平均と比べてみましょう。(3要素以内)

○ 県平均と比べ、数値が顕著に高い要素	
■ 県平均と比べ、数値が顕著に低い要素	

## 3. 教員として、自分のよさと課題を把握しましょう。(3つ以内)

よ	
さ	

## 4. 今年度重点的に取り組みたい研修テーマを1つ決めましょう。

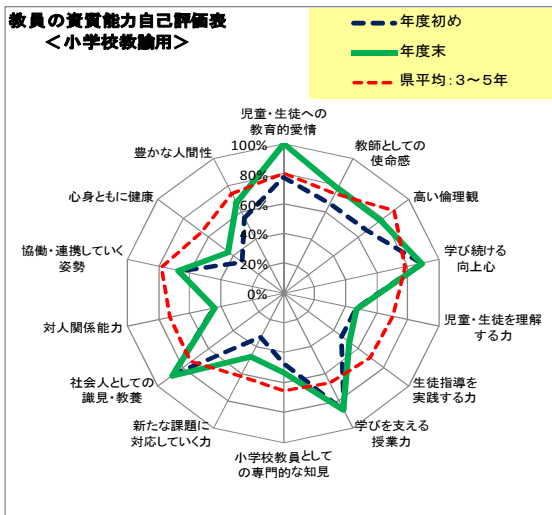
テーマ	
-----	--

## 5. 研修テーマに取り組むための計画を立てましょう。(3つ以内) 6. 実践したことを記録しましょう。

	計 画	記 録
その一	⇒	
その二	⇒	
その三	⇒	

## 7. 自分の成長を振り返ってみましょう。

(自己評価表の年度末の欄に入力してください。)



## 8. 今年度実践した成果と課題をまとめてみましょう。

成果と課題	
-------	--

## 9. 次年度取り組んでみようと思うことをまとめてみましょう。

次年度の取組	
--------	--

## 主な参考文献

- 教育職員養成審議会答申「教員の資質能力の向上方策等について」 (昭和 62 年)
- 教育職員養成審議会第 1 次答申「新たな時代に向けた教員養成の改善方策について」 (平成 9 年)
- 教育職員養成審議会第 3 次答申「養成と採用・研修との連携の円滑化について」 (平成 11 年)
- 中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」 (平成 17 年)
- 中央教育審議会義務教育特別部会「あるべき教師像と教員の質の向上について」 (平成 17 年)
- 中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」 (平成 18 年)
- 文部科学省「魅力ある教員を求めて」 (平成 21 年)
- 文部科学省 学校環境衛生管理マニュアル「学校環境衛生基準」の理論と実践 (平成 22 年)
- 文部科学省 教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引 (平成 23 年)
- 東京都教職員研修センター「教員の指導力向上に関する研究」 (平成 20 年)
- 宮城県教育委員会「みやぎの教員に求められる資質・能力」 (平成 17 年)
- 福島県教育委員会『「学校経営・運営ビジョン」実現のための組織力, 特に教師力向上の在り方」 (平成 20 年)
- 群馬県総合教育センター「教員の資質能力の向上」 (平成 18 年)
- 鳥取県教育委員会「鳥取県公立学校教員として求められる資質・能力」 (平成 20 年)
- 長崎県教育委員会「新長崎県公立学校教職員研修体系要綱」 (平成 23 年)
- 千葉県公立学校教員採用候補者選考実施要項 (平成 23 年)
- 千葉県教職員研修体系 (平成 22 年)
- 千葉市教育センター「教師力に関する研究 ―授業の達人に学ぶ―」 (平成 21 年)
- 佐倉市教育センター「学校職員意識調査のまとめについて (二次)」 (平成 16 年)
- 四日市市教育委員会「自己相互研鑽のために」 (平成 23 年)



みんなで取り組む **千葉の教育**

第407号

「教員の資質能力の向上を図る能動的自立研修の手引き」

平成26年3月

発行：千葉県総合教育センター

〒261-0014

千葉市美浜区若葉2-13

Tel 043-276-1166(代)

Fax 043-276-5128(代)

ホームページアドレス <http://db.ice.or.jp/nc/>

この冊子は、再生紙を使用しています。